

授業科目名	専門性強化演習 I			担当教員	大重 育美、福島 綾子 レベルIV実習担当教員
開講年次	3年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	30 (1)
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室	
授業の目的	各専門領域の実習に必要な知識、技術、態度を強化する。 実習の体験で得られた看護の現象について探求し、課題としてとらえた看護の現象について言語化・抽象化・概念化といった思考過程を繰り返しながら、次の看護実践の方向性を見出す能力を獲得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各専門領域における技術演習を通して、レベルIV実習に向けて必要となる知識、技術、態度の確認と準備ができる。 2. 実習中に直面しうる倫理的問題について、看護の視点から考えることができる。 3. 実習での体験をもとに、看護の現象に潜む探究課題を見出すことができる。 4. 探究課題を明らかにするために必要な情報資源を収集、活用することができる。 5. 看護実践の探求を通して、看護実践の言語化、抽象化、概念化するための方法を学ぶことができる。 				
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	(レベルIV実習前) 各専門領域における技術演習 (在宅看護領域、精神看護領域、 クリティカル領域、老年看護領域、 成育看護領域)	演習	予習・復習 ：各担当領域から提示される課題	各 60分	レベルIV 担当教員
2					
3	各専門領域における技術演習 (在宅看護領域、精神看護領域、 クリティカル領域、老年看護領域、 成育看護領域)	演習	予習・復習 ：各担当領域から提示される課題	各 60分	レベルIV 担当教員
4					
5	各専門領域における技術演習 (在宅看護領域、精神看護領域、 クリティカル領域、老年看護領域、 成育看護領域)	演習	予習・復習 ：各担当領域から提示される課題	各 60分	レベルIV 担当教員
6					
7	各専門領域における技術演習 (在宅看護領域、精神看護領域、 クリティカル領域、老年看護領域、 成育看護領域)	演習	予習・復習 ：各担当領域から提示される課題	各 60分	レベルIV 担当教員
8					
9	(レベルIV実習直前) オリエンテーション 看護現象における課題の探究とは 看護学実習における倫理とは	講義	予習：事前課題	60分	福島 大重 レベルIV 担当教員
10	(レベルIV実習 一斉学内週) 看護現象における課題の探求とは	講義 演習	予習：前半実習の振り返り 復習：探究課題を明らかにする文献 収集、ワークシート作成	各 120分	福島 大重
11	レベルIV実習の前半の体験を元に 探求したい事柄・場面について振り返り、 グループディスカッション	演習	予習：前半実習の振り返り 復習：ワークシートの作成	各 120分	レベルIV 担当教員

12	(レベルIV実習終了後) レベルIV実習における倫理とは (実習を終えての振り返り)	演習	予習：レベルIV実習で体験した倫理 問題についての振り返り 復習：事後課題	各 120分	レベルIV 担当教員
13	レベルIV実習での体験をもとに 探究課題を明らかにする ・レポート作成 ・グループでのピア評価	演習	予習：ワークシートの作成、課題レポート 復習：ピア評価を受けての課題レポ ートの修正	各 120分	福島 大重 レベルIV 担当教員
14	レベルIV実習での体験をもとに 探究課題を明らかにする ・レポートの評価 ・プレゼンテーションの準備	演習	予習：レポート作成 復習：レポートの修正、プレゼン準備	各 120分	福島 大重
15	看護の探求課題の事例について の発表 レポート、プレゼンテーションへ のフィードバック	講義	予習：プレゼン準備 復習：最終レポート提出準備	各 120分	福島 大重 レベルIV 担当教員
先行履修 科目	2年後期までに履修すべき全ての科目				
テキスト	必要時、資料を配布する				
参考文献	適宜、提示する				
メッセージ	<p>レベルIV実習では、約3か月という短い時間で対象や場の特徴が異なる5領域、6つの実習でそれぞれの実習目的を達成しなければなりません。一方で、レベルIV実習での経験は、みなさんの「看護」にとって大きな影響を与えるものになるはずですが、この科目が、レベルIV実習での学びをより深めるための取り組みにつながることを期待しています。</p> <p>自らの経験についてじっくりと振り返ることは、とても苦しい作業となるかもしれません。しかし、その作業の中でしか気づくことのできない言動の意味、自身の思考などは、みなさんが自分自身の「看護」を発展させていく上での大きな味方ともなってくれるはずですが、この科目では、みなさんのもっと成長したい気持ちを伸ばしていくことをモットーに、レベルIV担当教員全員でサポートしていきます。苦しい作業になるかもしれませんが、じっくり、しっかり「考え」、それぞれの問いの答えを見つけていきましょう。</p>				
科目の 位置づけ	<p>3年次後期のレベルIV実習に向けて、知識・技術・態度を準備するための科目である。しかし、各自がレベルIV実習での目標達成するためには、3年生前期の講義・演習科目や夏季課題を活用しながらレベルIV実習に向けての十分に準備して臨む必要がある。</p> <p>また、実習での体験を元に、看護の現象について深く探求する方法について学び、実習体験の振り返りを行う。レベルIV実習前、一斉学内週（中間）、レベルIV実習終了後に講義、演習の時間を設けているが、自らの学びを深めるだけでなく、他者の学びからも看護について深く考えることを期待する。そのため、3年生前期に開設する必修科目をすべて履修し、かつレベルIV実習に参加できる者の履修が望ましい。</p>				
ディプロマポリシー との関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	○			◎	
評価方法	技術演習での取り組み状況（40%）、参加・取り組み状況（20%）、プレゼンテーション・グループ討議（10%）、レポート（30%）				